

国総研資料第 1315 号**「移動式荷役機械等の走行性能に着目した荷さばき地における地震時の性能規定に関する設定事例」を刊行します**

国際コンテナ戦略港湾政策により大水深岸壁（水深16m以上）に付帯する荷さばき地も国が整備できるようになり、設計・施工する事例が増加しています。

本資料は、今後の設計実務の参考とするため、耐震強化施設（特定（幹線貨物輸送対応））の背後に存在する、コンテナターミナル内における荷さばき地のレベル2地震動後の性能規定値の設定事例およびその性能照査手法の一例を、既往検討事例を収集して整理したものです。

<目次>

- 第1章 はじめに
- 第2章 移動式荷役機械等の地震後の走行性能等を考慮した荷さばき地の性能規定例
- 第3章 レベル2地震動後の荷さばき地に対する性能照査事例とその概要
- 第4章 おわりに

本資料は、国総研ホームページで公開しています。

ダウンロード先URL：<https://www.ysk.nilim.go.jp/kenkyuseika/pdf/ks1315.pdf>

（問い合わせ先）

国土技術政策総合研究所 港湾・沿岸海洋研究部 港湾施設研究室

室長 竹信 正寛 （内線：3330）

TEL：046-844-5019

E-mail：ysk.nil-46pr@gxb.mlit.go.jp